
した。

普通のシー様（冷凍済み）

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
した。

【Nコード】
N2928Q

【作者名】
普通のシー様（冷凍済み）

【あらすじ】
今日は少し良いことした。詳しくは今日投稿したエッセイや活動報告を読めば判るよ。そこに本音を書き過ぎたね

今日は少し良いことした。詳しくは今日投稿したエッセイや活動報告を読めば判るよ。そこに本音を書き過ぎたね

本音を書きすぎて自分の問題点に気付いて清らしい。その反面、どうにもならず、ここで無駄な文章を書いてるとしか思えなくなる。今は良くても悪い未来しか見えない。

二トのサンプルデータが世間に提供できたから、意義ある事はしたと思う。

共感者は現れないし、なるうの住人からは、冷やかに、そして痛く悲惨な奴に見えるだろう。でも、どこかネタとして面白い筈。それで十分であるが、その事を書くこと自体が尚、痛々しい。

でも、肝心のオイラは全然痛くない。

こんなにも痛い自分を表現できる事を誇りに思うし、そうさせるコゴがとても愛おしい。反面、やはりリムナシイ。

ここしか居場所が無い訳で執着してしまう。でもって、あり難い。

だからこそ、何かで恩を返したいと前から思っている。

困ったことがあれば何でも手を貸したい

困って無くても遊び相手に成りたい。

感想の要望があれば、ぼる糞にけなしてもいい。

オイラは根気が無いから、一行、一行を重要視するから誰よりもシビアに評価する。

万人受けとか商品化とか、そんなのは考えない。

オイラが楽しめるか否かだけで判断するし、作者としてもプロでない人の意見を聞くのだから、その程度でいいと思う。

とは言っても要望があっても断る様にしてる。

自分の作品が世界一と思えない人を読む気には成らない。

自分が未完成と思って謙虚な人の作品等、読んでもツマラナイのが確定しているからだ。そんな自信なき作品を読むくらいなら、ツマラナイプロ作品を読む方がマシであると思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2928q/>

した。

2011年1月26日14時07分発行